

有沢広巳 経済学者。<人民戦線事件>で検挙され、<敗戦>後、東大に復帰して復興期の経済政策を指導した。

ありさわひろみ

白馬会・・・1896 = 高知市はりまや町で生まれる。

日露戦争終・1905 = **9歳**：

明治天皇没・1912 = 16歳：

高知中学を経て、

第一次大戦始1914 = **18歳**：

第二高等学校を卒業し、東京帝国大学の法学部から独立したばかりの経済学部の第一期生として入学、

系井靖之の演習で統計学を学び、河合栄治郎の講義も熱心に聴いた。

大暴落・・・1920 = 24歳：

この年、森戸事件が起こる。

さらに、大内兵衛に師事して、マルクス経済学を学ぶ。

原敬首相暗殺1921 = 25歳：

水平社結成・1922 = 26歳：東京帝国大学経済学部を卒業。助手を経て、

関東大震災・1923 = **27歳**：

東大経済学部助教となり、統計学講座を担当。同大講師の猪間驥一を大学から追放した。

治安維持法・1925 = 29歳：同大学医学部助教で同志の国崎定洞とともに、ドイツに留学。ワイマール共和制に感銘を受け、

共産党事件・1928 = 32歳：

帰国後は、共和制打倒を掲げ台頭したアドルフ・ヒトラー率いるナチスを激しく批判する。

統計学を講ずるかたわら、マルクス経済学の立場から、世界資本主義・工業経済の実証的研究に従事、

満州事変・・・1931 = 35歳：

「カルテル・トラスト・コンツェルン」(改造社版「経済学全集」)、

五一五事件・1932 = **36歳**：

日中戦争始・1937 = 41歳：学位論文「日本工業統制論」、

健保+総動員 1938 = 42歳：人民戦線事件で検挙され、大内らと共に治安維持法違反で起訴され、休職処分となるが、

日米開戦・・・1941 = **45歳**：

この間、[昭和研究会]で「日本経済再編成試案」を作成して財界から反対され、陸軍の{秋丸機関}に所属して、欧米と日本の経済比較を行う。

年金+総武装 1944 = 48歳：

二審で無罪となり、

敗戦・・・1945 = 49歳：

敗戦後、東大経済学部に教授として復帰するや、

新憲法公布・1946 = 50歳：

吉田内閣の経済安定本部長官就任依頼を固辞し、石炭委員会委員長として経済政策の立案にあたり、傾斜生産方式を提唱して注目され、政策に大きな影響力をもった。以後、著書も多く、政策通として各種政府に関係し、経済政策を指導して行く。

委員会

極東裁判決・1948 = 52歳：

「インフレーションと社会化」、

朝鮮戦争始・1950 = **54歳**：

戦前の「日本工業統制論」により、_経済学博士。

独立回復・・・1951 = 55歳：

メデー事件・1952 = 56歳：

「世界経済図説」、

TV放送始・・・1953 = 57歳：

「再軍備の経済学」、

国連加盟・・・1956 = 60歳：

*定年退官し、名誉教授、法政大学教授となりるとともに、藤岡由夫・湯川秀樹・正力松太郎・石川一郎とともに、この年設置された原子力委員会の最初の委員となり、

なべ底不況・1957 = 61歳：

「学問と思想と人間と～忘れ得ぬ人々の思い出」、

美智子妃・・・1959 = **63歳**：

「現代日本産業講座」監修。_法政大総長となった。

安保闘争・・・1960 = 64歳：

いざなぎ景気1966 = 70歳：_勲一等授瑞宝章。

霞ヶ関ビル・1968 = **72歳**：

トクショク・・・1971 = 75歳：

原子力委員会委員長代理への就任以来は日本の原子力政策の推進者としても知られ、

石油ショック1973 = 77歳：

第3代*日本原子力産業会議会長となり、没するまで務める。

角栄金脈辞任1974 = 78歳：

_学士会理事長に就任し、没するまで務める。

クランブル事件1975 = 79歳：

_旭日大綬章。

JALハイジャック・1977 = **81歳**：

成田衝突・・・1978 = 82歳：

「ワイマール共和国物語」、

貿易摩擦問題1980 = 84歳：

以降6年間、日本学士院院長。

・・・1981 = 85歳：

文化功労者。

・・・1984 = 88歳：

「ワイマール共和国余話語」。_日中学术交流のため、中国社会科学院日本研究所に蔵書2万冊余を寄贈、

ジャポ機墜落1985 = 89歳：

_中国社会科学院より名誉博士号を授与される。

リクルート事件・1988 = 92歳：

_没した。

「日本史重要人物101」、インターネットWikipedia、